

Mpox(サル痘)予防に関する情報

Mpox の流行状況

2023 年 1 月以降、Mpox の発生が増加しています。国内での感染が主流となっており、感染の発生状況は以前とは大きく異なります。今後はさらに感染が拡大すると考えられ、注意が必要です。肌と肌が触れ合うような密接な接触があった場合には、最終接触から 3 週間は、体調に変化がないか気を付けましょう。

Mpox の症状

性器や肛門、口、顔、手、足、胸に、にきびや水疱のように見える発疹が出来ます。痛みや痒みを伴うことがあります。発疹以外に、発熱、リンパ節腫脹、頭痛、喉の痛みなどが出ることがあります。Mpox の症状は、患者との接触後 3 週間以内に出現します。体調不良を自覚してから通常 1-4 日後に発疹が出現します。発疹や水疱が治り、かさぶたから新たな皮膚ができるまで感染力があります。通常 1 か月程度で自然に治癒します。HIV に感染している場合には、重症化する可能性があるため、HIV の検査を受けることも大切です。

Mpox の感染経路

Mpox 患者の発疹や水疱、かさぶたに触れる、それらの病変部と接触した物に触れる、感染者の唾液や体液に触れる、感染者が使用した衣類、タオル、寝具に触れる、食器やコップの共用、歯ブラシの共用等の行為で感染する可能性があります。

感染は次のような状況で起こる可能性があります。

- Mpox 患者とのオーラルセックスを含む性行為
- Mpox 患者の性器や肛門に触れる行為。
- Mpox 患者との抱擁、マッサージ、キス。
- Mpox 患者との長時間の対面接触。
- Mpox 患者が使用した衣類、寝具、タオル、大人のおもちゃなどに触れる行為、食器やコップの共用、歯ブラシの共用。

普段からこころがけた方がよい事

- Mpox の症状についてパートナーと話し、口、性器(陰茎、睾丸、外陰部、膣)、肛門を含む、お互いの体全体に、新たな発疹や原因不明の発疹が出来ていないか確認しましょう。
- セックスパートナーを限定しましょう。
- 複数のパートナーとの接触や匿名の性的接触となる、裏部屋、サウナ、セックスクラブ、セックスパーティーは、Mpox の感染が拡大する可能性が高い場所です。そのような出合いや場所を避けるようにしましょう。
- 直接、肌と肌の接触があるとリスクが高まります。性行為の際に肌の露出を最小限にすることは、リスクの軽減につながります。
- キスや唾液の交換をしないようにしましょう。
- 手をよく洗いましょう。特に食事の前、顔に触れるような動作の前、トイレの後は、石鹸や流水でよく手を洗ってください。アルコール含有消毒薬による手指衛生も有効です。

コンドームの使用について

Mpox は、感染者の粘膜や皮膚にできた病変との接触で感染します。コンドームの使用だけでは、予防することは出来ません。

ワクチン接種について

一部の国では、リスクのある人に予防接種を推奨していますが、2023 年 3 月現在、日本では、Mpox に対するワクチン接種は、患者に接する医療者に限定されており、一般にはワクチン接種を希望しても、接種を受けることが出来ません。

妊娠中の感染について

妊娠中の人が Mpox に感染した場合には、胎盤を介して胎児が感染してしまう可能性があります。

原因不明の発疹ができた場合の対処法

原因不明の発疹がある場合は、キスや性行為をしないでください。特に、発疹部分を絶対に触らないようにしてください。病変部分を包帯やガーゼで覆い、マスクを着用して医療機関を受診してください。

参照:

<https://www.cdc.gov/poxvirus/mpox/prevention/protect-yourself.html>

<https://www.cdc.gov/poxvirus/mpox/prevention/sexual-health.html>